

2020 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [赤穂市立有年小学校] 担当教諭名 [長崎 ひな] (5年1組 7名)

相手国・地域 [インド]

海外学校名 [Oakridge International School, Gachibowli] 担当教諭名 [Karuna Swaminathan / Saheli Basu]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	世界とつながろう	20
	図画工作	壁画を描こう	8
	外国語	英語で伝えよう	1

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	新型コロナウイルス感染症がおさまった先に広がる世界
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	世界中で大流行している新型コロナウイルス感染症がおさまったら、今までのように世界中の人々と交流したい。 そのために、みんなで感染症対策に取り組もう。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> インドの子ども達との交流を通して、外国への関心が高まった。 調べ学習や交流を行うことで、インドの文化について知り、日本や地域のよさも改めて実感することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの学習カリキュラムや学校行事などがある中で、アートマイルの学習時間の確保が難しかった。 言語が異なる国との交流の難しさを感じた。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> 調べ学習や交流を通して、インドについて詳しく知ることができ、インドを身近に感じる事ができた。 インドの子ども達と一緒に壁画の作成に取り組むことで、世界とのつながりを実感し、さらに交流したいと意欲をもつことができた。 英語で考えを発信することで、交流する楽しさを知ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の文化の多様性や、日本や地域の魅力を改めて実感することができた。 子ども達への英語教育と、教師自身の英語力の必要性を強く感じた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	<ul style="list-style-type: none"> 相手校の情報を知る。 写真で自己紹介をし合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の活動に意欲をもつことができた。 	総合3
共有 テーマ学習	10月	<ul style="list-style-type: none"> 学校の様子を紹介する。 インドの文化や自然について調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> インドについて知ることで、インドを身近に感じるようになった。 日本とインドの共通点や相違点を知ることができた。 	総合5
融合 メッセージ作成	11月	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症について調べる。 テーマ学習からメッセージを考え、壁画のデザインを相手校と相談して決定する。 	<ul style="list-style-type: none"> メッセージが伝わるデザインを話し合っ考えた。 日本や自分たちの地域の文化を絵にすることで、そのよさを再認識することができた。 	総合6
創造 壁画制作	11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> 下書きを作成し、色塗りを行う。 壁画と共に送るプレゼント(折り紙)を作製する。 フォーラムで完成の報告をする。 インドに壁画を発送する。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本や自分たちの地域のよさを絵で伝えようと、作業を分担しながら細部まで丁寧に描き、仕上げることができた。 	総合2 図工8
評価 振り返り 自己評価	1月 ～ 3月	<ul style="list-style-type: none"> テーマ学習のまとめとして動画を撮影し、フォーラムにアップする。 	<ul style="list-style-type: none"> 動画撮影に取り組むことで、学びを振り返ることができた。 	総合4 外国語1

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つけたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	4	インドについての調べ学習や壁画のデザインを考える中で、両国の文化を知り、共通点や相違点に気付くことができた。インドの文化や学校の様子を知り、インドを身近に感じることができた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	2	児童だけで批判的に思考するのは難しく、カリキュラムの中で時間的にも余裕がなかったため、批判的に思考させるまでには至らなかった。
主体的に考え行動する力	4	インドについて興味のあることを進んで調べたり、壁画を作成する中で、デザインを自分たちで考え、役割を決めたりして活動することができた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	3	インドの子ども達と一緒によりよい壁画を作りたいという思いをもって、友達と協力しながら意欲的に壁画作成に取り組むことができた。対話するには、英語力をもっと身に付けさせる必要があると感じた。
思いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	3	日本や地域の文化のよさを絵で表現したり、日本のコロナウイルスの現状を伝える言葉を考え、英語でインドに発信することができた。